

(別紙様式3)

平成 30年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立佐伯支援学校

前年度評価結果の概要
○重点目標1「TKプロジェクトの推進(カリキュラム・マネジメントの確立)」については、個別の指導計画を中心としたカリキュラム・マネジメント、K会議の定例化等成果があった。特に担任と保護者との面談による個指計と通知表の説明会の実施は、他校にはない先進的な実践であった。H29年度は各種取組の枠組みの構築がほぼできたので、H30年度はそのシステムを活用した中味の充実が求められる。
○重点目標2「安全性の向上と児童生徒と向き合うための時間の確保につながる業務改善の推進」については、文科省が新たに掲げる「働き方改革」を先取りした取組であり、業務改善提案シートの活用や各種マニュアルの作成等の成果があった。但し、取組指標の量的達成に加え質的内容の検証を十分にし、その上での工夫をしなければ、達成指標の全ての数値目標の100%達成は難しい。H30年度は県立学校でタイムレコーダーの導入が予定されているので、客観的な数字で勤務実態の把握をしながら業務の平準化を推進することが求められる。

学校教育目標 中期目標 重点目標
基本的な人権を尊重し、児童生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行い、自立し社会参加することをめざし、豊かでたくましい心身と自ら生きる力を培う。
1 児童生徒一人一人に向き合う教育指導システムの確立
2 児童生徒職員にとって安全安心な環境の構築
3 全職員が協働して、正確・迅速・効率的に業務を遂行できる学校経営体制の確立
1 「TKプロジェクト」の推進(カリキュラム・マネジメントの確立)
2 児童生徒・職員の健康維持と安全性の向上及び、児童生徒・授業と向き合うための時間の確保につながる業務改善の推進

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for three main goals.

総合評価 次年度への展望等
・次年度は、大分県教育委員会におけるカリキュラムマネジメントモデル校に指定を受けて、新しい学習指導要領を踏まえた、教育課程の編成における取組を充実させていきたい。
・タイムレコーダー打刻レポートについては、衛生委員会を中心に分析や状態把握を行い、教職員の働き方について継続して注視していきたい。
・佐伯市における地域に根ざした開かれた教育課程になるべく、小学部や中学部・高等部におけるキャリア教育の充実にもむけた努力を実施したい。